

★本セミナーでは、SAF製造に関する各々の技術開発の動向と取組み・展望などについて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。
 ★午前（プログラムⅠ・Ⅱ）のみ、午後（プログラムⅢ・Ⅳ・Ⅴ）のみのご受講も受け付けております。
 ★講師の皆様ご来場頂く予定ですが、急遽オンラインでの講演となる場合がございます。
 変更などがございましたら、随時更新させていただきますので、下記のURLにてご確認下さいませ。
<https://www.tic-co.com/seminar/20260216.html>

SAF (持続可能な航空燃料)の製造技術開発動向と取組み・展望

～講師5名【IHI、東芝エネルギーシステムズ、東京農工大学、日本微細藻類技術協会、大阪公立大学】ご登壇～

- 日時 2026年 2月26日(木) 10:00～16:50
- 会場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・会議室
※急ぎのご連絡は(株)技術情報センター(TEL. 06-6358-0141)まで!!
- 受講料
 - ◆1日受講 55,000円 [名につき]
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,000円)(午前と午後で受講者が異なる場合でも可)
 - ◆午前(プログラムⅠ・Ⅱ)受講 38,500円 [名につき]
 - ◆午後(プログラムⅢ・Ⅳ・Ⅴ)受講 39,600円 [名につき]

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信 (Zoom) での受講も可能です。
 ※セミナー資料 (テキスト) はセミナー開催日の直前にデータ (pdf) でお送り致しますが、配布できない資料 (当日・投影のみ公開など) もございますこと、ご了承下さいませ。

※アーカイブ受講可能 (アーカイブ受講をご希望の方は上記URLにてご確認下さいませ)。

◎ プログラム ◎

10:00 11:00	<p>I. CO₂を原料としたPtLによる液体燃料合成への取組み 株式会社IHI 技術開発本部 技監 鎌田博之氏 ネットゼロ社会への移行に向けて、化石資源にかわりCO₂を炭素源として捉え有価物として再利用するカーボンリサイクル技術の確立が必要である。触媒を使ってCO₂を燃料や化学原料などの有価物に転換するCO₂転換技術についてその原理と特徴を述べる。なかでもIHIが現在取り組んでいるCO₂を原料としたフィッシャー・トロプシュ反応による化学原料や持続可能な航空燃料 (SAF) 向けの炭化水素合成プロセスについて紹介する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1. ネットゼロ社会への移行に向けた動向</td> <td style="border: none;">4. 実装に向けた課題と展望</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2. カーボンリサイクルによるCO₂転換の原理と特徴</td> <td style="border: none;">5. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">3. IHIにおけるPtLによる炭化水素合成技術の開発</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	1. ネットゼロ社会への移行に向けた動向	4. 実装に向けた課題と展望	2. カーボンリサイクルによるCO ₂ 転換の原理と特徴	5. 質疑応答・名刺交換	3. IHIにおけるPtLによる炭化水素合成技術の開発	
1. ネットゼロ社会への移行に向けた動向	4. 実装に向けた課題と展望						
2. カーボンリサイクルによるCO ₂ 転換の原理と特徴	5. 質疑応答・名刺交換						
3. IHIにおけるPtLによる炭化水素合成技術の開発							
11:15 12:15	<p>II. 電解技術によるCO₂有効利用 ～SAF等への適用～ 東芝エネルギーシステムズ株式会社 水素エネルギー技術部 課長代理 長野敬太氏 再生可能エネルギーを活用したCO₂電解技術により、一酸化炭素 (CO) などの中間原料を生成し、SAF製造プロセスへの適用を探る。CO₂電解の性能・耐久性、スケールアップ課題、SAF製造の技術的・経済的検討等に加え、化学原料・化成品への展開を示し、CO₂有効利用の可能性と将来像を俯瞰する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1. CO₂電解技術について</td> <td style="border: none;">3. 化学原料・化成品への展開</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2. SAF製造プロセスへの適用と課題</td> <td style="border: none;">4. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> </table>	1. CO ₂ 電解技術について	3. 化学原料・化成品への展開	2. SAF製造プロセスへの適用と課題	4. 質疑応答・名刺交換		
1. CO ₂ 電解技術について	3. 化学原料・化成品への展開						
2. SAF製造プロセスへの適用と課題	4. 質疑応答・名刺交換						
13:20 14:20	<p>III. 新規SAF原料ポンガミアの有用性と東京農工大学の取組み 国立大学法人東京農工大学 工学府 特任助教 村田智志氏 SAF原料の安定的な確保が急務となる中、非可食油脂植物であるポンガミアは、パーム油に匹敵する高い油生産性を有することから、新たなSAF原料として注目を集めている。東京農工大学では、ポンガミアの栽培研究を基盤に、遺伝子解析による特性解明、エリート株の創出、さらにSAF製造プロセスにおけるGHG排出量評価までを一体的に推進している。本講演では、ポンガミアの持つ潜在力とともに、持続可能な航空燃料の社会実装に向けた本学の包括的な取り組みを紹介する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1. SAF原料調達現状</td> <td style="border: none;">3. ポンガミア由来SAFの実証に向けた本学の取り組み</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2. 新規SAF原料としてのポンガミアの有用性</td> <td style="border: none;">4. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> </table>	1. SAF原料調達現状	3. ポンガミア由来SAFの実証に向けた本学の取り組み	2. 新規SAF原料としてのポンガミアの有用性	4. 質疑応答・名刺交換		
1. SAF原料調達現状	3. ポンガミア由来SAFの実証に向けた本学の取り組み						
2. 新規SAF原料としてのポンガミアの有用性	4. 質疑応答・名刺交換						
14:35 15:35	<p>IV. 微細藻類を活用したSAF生産の産業化に向けた取組み 一般社団法人日本微細藻類技術協会 (IMAT) 研究開発部 研究員 東海彰太氏 脱炭素社会の実現に向け、CO₂を光合成により固定する微細藻類が、持続可能なバイオマス資源として注目されている。微細藻類由来SAFは国内でも国際規格ASTM認証を取得し、実用化フェーズに向けた体制が整いつつある。一方で、分野や組織の垣根を越えて個々の強みを結集した連携が日本の競争力を生むために重要と考える。本セミナーでは、微細藻類由来のSAF生産の特徴と技術課題を整理するとともに、弊協会の取り組みを通じた産学官連携を紹介する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1. 微細藻類由来のSAF製造について</td> <td style="border: none;">3. 一般社団法人日本微細藻類技術協会 (IMAT) の取り組み</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2. 微細藻類を用いたSAF製造技術に関する課題</td> <td style="border: none;">4. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> </table>	1. 微細藻類由来のSAF製造について	3. 一般社団法人日本微細藻類技術協会 (IMAT) の取り組み	2. 微細藻類を用いたSAF製造技術に関する課題	4. 質疑応答・名刺交換		
1. 微細藻類由来のSAF製造について	3. 一般社団法人日本微細藻類技術協会 (IMAT) の取り組み						
2. 微細藻類を用いたSAF製造技術に関する課題	4. 質疑応答・名刺交換						
15:50 16:50	<p>V. ココナッツから航空機用バイオ燃料を製造する研究動向と展望 大阪公立大学 大学院工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 助教 小川泰一郎氏 航空機用バイオ燃料の需要拡大に伴い、特定の原料に依存した燃料供給には限界があることから、多様な原料を対象としたバイオ燃料の研究開発が進められている。国内においても、企業および研究機関による原料多様化を志向した研究が活発化している。本講演では、大阪公立大学において研究開発を進めているココナッツを原料とした航空機用バイオ燃料を対象に、製造プロセスの開発および燃料利用時の特性評価に関する研究状況を報告する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1. 植物油を原料とした航空機用バイオ燃料の研究動向</td> <td style="border: none;">3. 燃焼試験による性能評価と今後の展望</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2. ココナッツを用いた航空機用バイオ燃料の製造技術</td> <td style="border: none;">4. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> </table>	1. 植物油を原料とした航空機用バイオ燃料の研究動向	3. 燃焼試験による性能評価と今後の展望	2. ココナッツを用いた航空機用バイオ燃料の製造技術	4. 質疑応答・名刺交換		
1. 植物油を原料とした航空機用バイオ燃料の研究動向	3. 燃焼試験による性能評価と今後の展望						
2. ココナッツを用いた航空機用バイオ燃料の製造技術	4. 質疑応答・名刺交換						

一名刺交換など

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。